

## 設置の際のご注意

TVボードを設置する際、設置場所の状況によってはTVボード本体に傾きが生じて、中央の扉を閉めた時に隙間の大きさに違いが出たり、扉がちゃんと閉まらなくなったりする事があります。

TVボードを部分的にカーペットの上に乗せたり、異物が挟まったりしていないかをご確認ください。

そのような事がなくとも隙間に違いが出る場合には、下図の事例を参照して、TVボード本体の傾きを調節してください。

### ご理解ください

家具の材料である木は、湿度によって大きさ・形が変化します。そのため、各部品をぴったりと隙間なく作った場合、湿度が高い日が続いたりすると木が膨らんで、引出しや扉の開閉ができなくなってしまいます。

このような事を防ぐため、木が変化しやすい所には隙間をあらかじめ作っていますので、『隙間があること』は正常な状態です。

梅雨の時期などには、この隙間が無くなってしまいう事もありますが、梅雨が明ければまた徐々に元の状態に戻りますのでご安心ください。

### ■ 扉の右側の隙間が大きい場合

TVボードを正面から見て、本体の左前位置の裏面に、添付の丸フェルトを貼ってください。

扉の隙間にあまり変化がない時は、フェルトをさらに2枚・3枚と重ねて貼ってください。

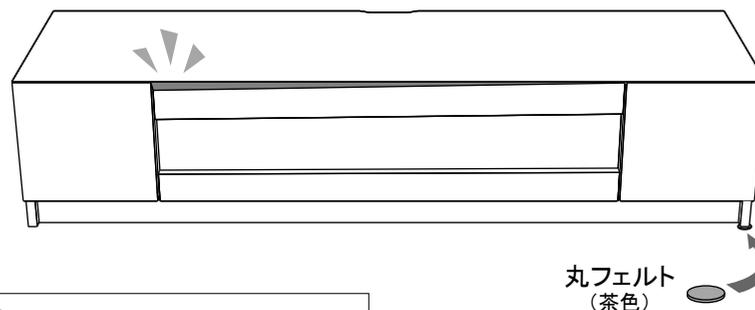


丸フェルト  
(茶色)

### ■ 扉の左側の隙間が大きい場合

TVボードを正面から見て、本体の右前位置の裏面に、添付の丸フェルトを貼ってください。

扉の隙間にあまり変化がない時は、フェルトをさらに2枚・3枚と重ねて貼ってください。



丸フェルト  
(茶色)



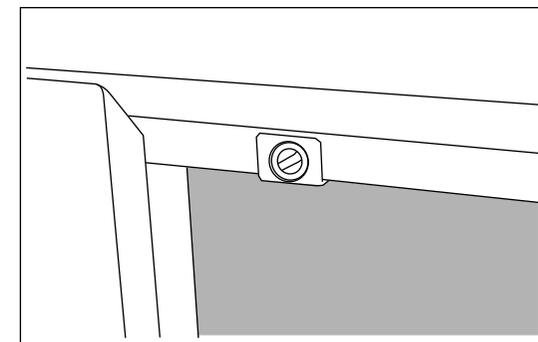
- ・フェルトの貼付け作業は、必ず2人以上でおこなってください。
- ・フェルトを貼る時に、本体と床の間に指を挟まないよう十分にご注意ください。

## 扉マグネットの調節

扉を閉めた時に、ピタッと吸着しなくなった場合は、扉マグネットを調節してください。

※作業の前に、マイナスドライバーをご準備ください。

- ①中央の扉(デッキ収納部)を開きます。
- ②扉を開いたところの本体側に、下図のような丸いパーツがあります。これが扉を吸着するマグネットです。



- ③マグネット自体を、マイナスドライバーを使って回すことで、マグネットの前後位置を調整できます。時計回りに回すと奥に引っ込み、反時計回りに回すと前に飛び出てきます。
- ④扉を閉めてみて、しっかりと閉まるようになるまで位置を調整してください。

※マグネットを反時計回りにまわしすぎると、マグネットが脱落する事がありますのでご注意ください。